

⚠ 注意事項

本装置設置にあたり以下の点にご注意をお願いします。(図面は前頁参照)

- 1 浮上油回収層にゴミ(部品・ビニール袋など)が浮上していると、それが原因でフロートがうまく稼働しないことがあります。その原因を防ぐため、槽の出口に「ゴミ取袋」を取り付けることをお願いしたいと思います。(別売です)



- 2 浮上油を効率よく回収する為「ゲートリングキャップ(前頁図面2-5)」の調整が必要です。浮上油の量によっては、吸い込み口を上下する事がが必要です。「ゲートリングキャップ」を上下させ調整します。
- 3 「油水分離タンク(前頁図面1-1)」の上部に浮上した浮上油は、「油かきとり羽根(前頁図面1-3)」により回収します。浮上油を効率良く回収する為に「油かきとり羽根」の水位を設定します。設定方法は「U字金具(前頁1-9)」を回転して調整します。
- 4 本体を設置するときは、調整を兼ねて専門員が設置致します。(設置費用は別途です)

株式会社 HOZEN

本社 〒175-0094 東京都板橋区成増1-9-2
TEL.03-3975-2181(代) FAX.03-3975-3491
Eメール info@hozen-gr.co.jp

大阪支店 〒570-0008 大阪府守口市八雲北町3-14-12
TEL.06-6115-9000 FAX.06-6115-9001

大栄営業所 〒287-0225 東京空港交通(株)成田運行事業所内
TEL.0476-73-7557

越谷レイクタウンセンター 〒343-0827 埼玉県越谷市川柳町2-102-1

⚠ 安全に関するご注意

・ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、
正しくご使用ください。

※本カタログに記載した仕様は整備改良のため
予告なく変更することがあります。

2023.01-500-FG

浮上油回収装置

フロートル

型式:OST-08

油水分離装置に浮上している浮上油を 強力吸引回収!

フロートル導入の4大メリット!

- 1 油水分離槽内の油分(n-Hex)の濃度を薄くし、
分離槽内の状況を改善します!
- 2 浮上油回収することにより大雨の場合も
外部に油を流出しにくくなります!
- 3 浮上油回収することにより、
バキュームカー清掃の回数を減らせます!
- 4 硫化水素の発生を減少することが可能!

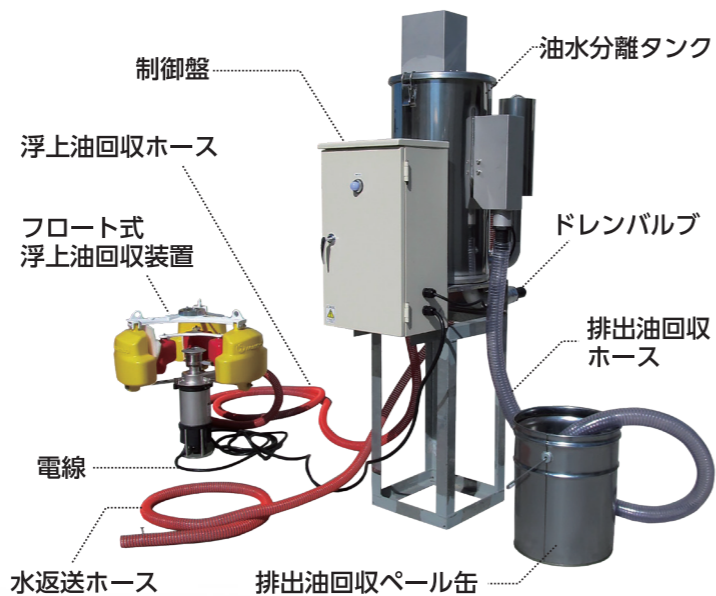


 株式会社 HOZEN

<http://www.hozen-gr.co.jp>

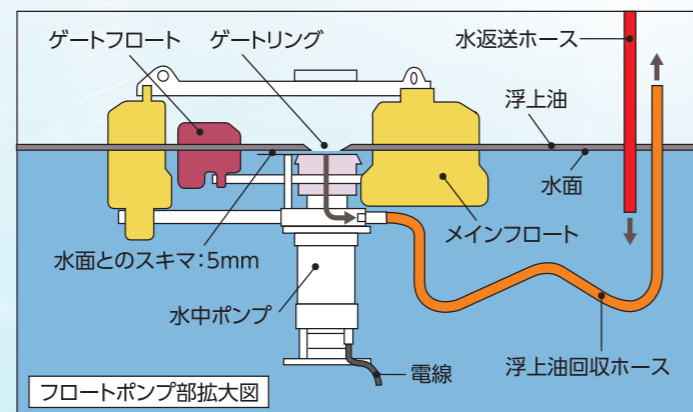
設置要領

- 油水分離タンク(以下、本体と呼びます)の設置位置を出来るだけ浮上油回収槽の近くに設置して下さい。
- 浮上油回収装置(以下フロートと呼びます)の吐出口にオレンジ色の浮上油回収ホース(φ25mm)本体の注入口に接続して下さい。
- フロートを浮上油を回収する槽に浮かべて下さい。
- フロートに接続されている電線を本体の制御盤の端子に接続して下さい。(三相200V)
- 水返送ホース(φ25mm)を接続して下さい。戻す先は油分を回収する槽です。
- 排出油回収ホース(φ38mm)を本体に接続して下さい。回収する容器としてペール缶などを用意して下さい。
- 本体をアンカーボルトで固定して下さい。
- 一次側の電源(三相200V)を接続して下さい。
- 制御盤内のウィークリータイマーをセットして下さい。通常は一週間全て「ON」の設定とします。
- 制御盤内の吸い上げ時間をタイマーでセットして下さい。通常は1時間程度の吸い上げ時間として、「ON」、「OFF」それぞれの時間を設定します。油の状況によっては、一日に何回か稼働するように設定して下さい。
- 制御盤内のブレーカーを「ON」にします。これで作業開始です。

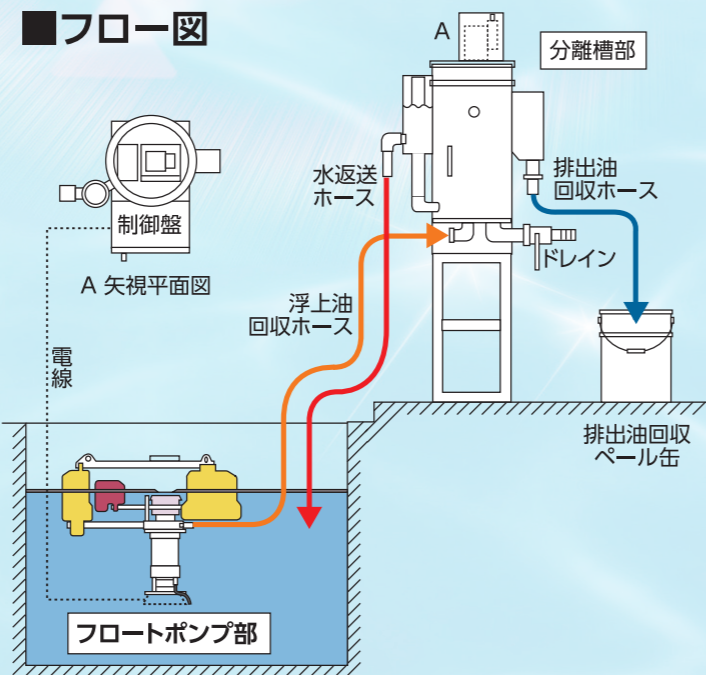


独自のフロート形状と構造

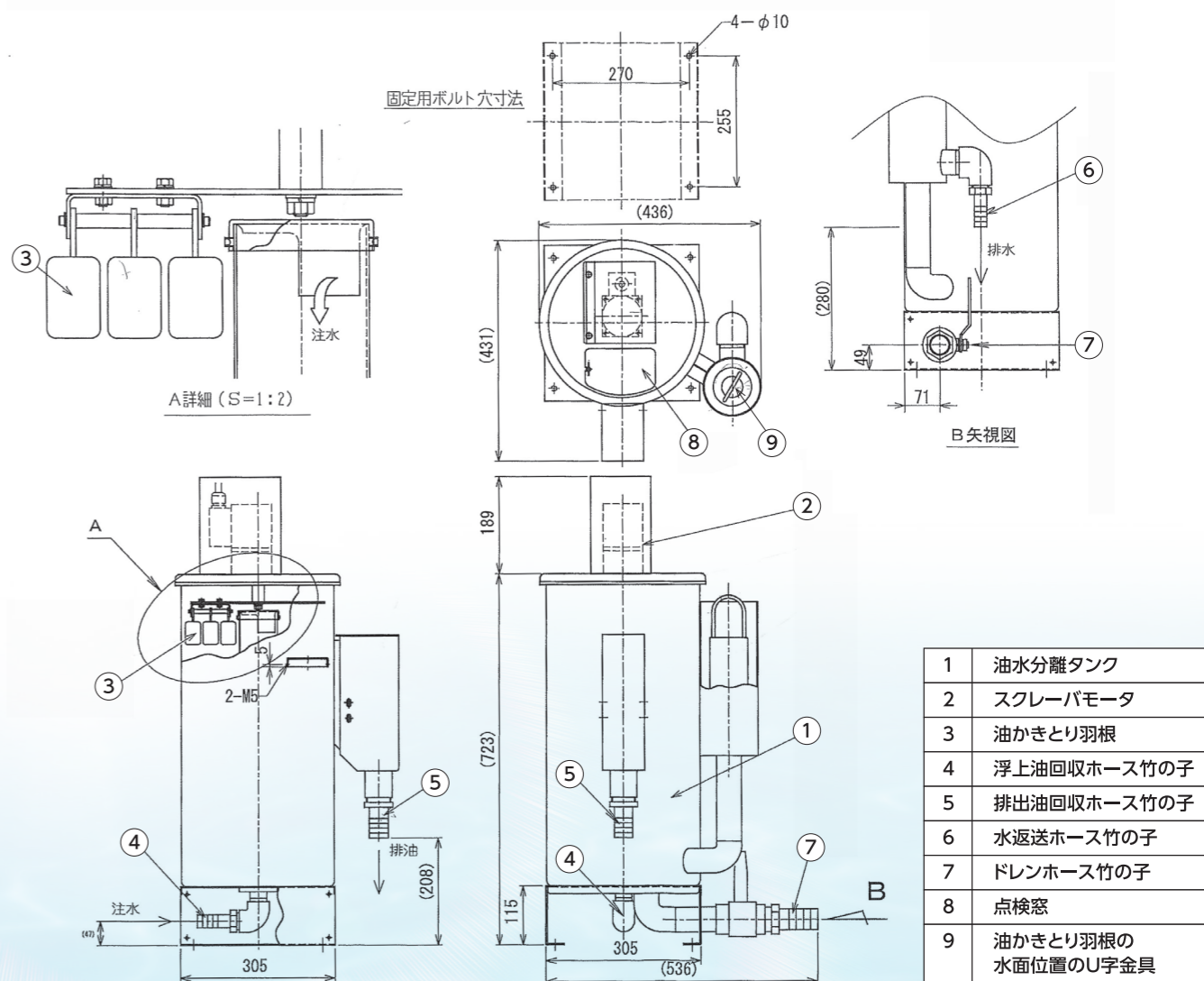
- 油水分離タンクで油と水に分離し、油分のみを回収。水は水槽に戻します。



フロー図



■フロートル(浮上油回収装置本体) 型式:OST-08 図面1



■フロートル(浮上油回収ポンプ) 図面2

